

「子育てグリーン住宅支援事業」がスタート！ 最大160万円もらえる新補助金も登場！

2024年11月29日、「子育てエコ住宅支援事業」がリニューアルし、「子育てグリーン住宅支援事業」がスタートしました。今回から子育て世帯だけでなく、全世帯が対象の補助金も新設され、さらにお得に！この補助金を活用するには一定の条件を満たす必要があるため、事前確認が重要です。

2025年「子育てグリーン住宅支援事業」の補助金を 最もお得に活用するための準備ガイド

目次

「子育てグリーン住宅支援事業」とは？

- 1. 新築住宅の支援
- 2. リフォームの支援

GX志向型住宅、長期優良住宅・ZEH水準住宅の違いとは？

- GX志向型住宅
- 長期優良住宅
- ZEH水準住宅

福山市なら GX志向型住宅 VS 長期優良住宅 どちらを目指す？

条件の判断は家の仕様によって様々！お気軽に相談会にご参加ください

「子育てグリーン住宅支援事業」とは？

2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、特に子育て世帯や若者夫婦世帯を対象に、省エネ性能の高い住宅の新築やリフォームを支援する国の補助金制度です。2024年11月29日に「子育てエコ住宅支援事業」が『子育てグリーン住宅支援事業』としてリニューアル。一部の補助制度が変更となり、子育て世帯だけでなく全世帯が対象の補助金が新たに登場しました。

補助金を活用するためには、一定の条件を満たす必要があります。実は、今回の補助金は福山市でお家を建てる方にとってもお得な制度となっております！

これから家を建てる予定の方は、しっかりと事前に確認しておきましょう！

主な支援内容

1. 新築住宅の支援

- (NEW!)GX志向型住宅

全ての世帯が対象で、1戸あたり最大160万円の補助が受けられます。

- 長期優良住宅・ZEH水準住宅

子育て世帯(※)や若者夫婦世帯(※)が対象で、1戸あたり40万～100万円の補助が提供されます。

※子育て世帯＝申請時点で18歳未満の子どもがいる世帯

※若者夫婦世帯＝申請時点で夫婦のいずれかが39歳以下の世帯。

住宅※2,3の新築(注文住宅・分譲住宅・賃貸住宅)

対象世帯	対象住宅		補助額
すべての世帯	GX志向型住宅※4		160万円/戸
子育て世帯等※1	長期優良住宅 ※4,5,6,7	建替前住宅等の除却を行う場合※8	100万円/戸
		上記以外の場合	80万円/戸
	ZEH水準住宅 ※4,6,7	建替前住宅等の除却を行う場合※8	60万円/戸
		上記以外の場合	40万円/戸

GX志向型住宅の要件

○下記の①、②及び③にすべて適合するもの

- ①断熱等性能等級「6以上」
- ②再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」
- ③再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率「100%以上」※9,10,11

※1:「18歳未満の子を有する世帯(子育て世帯)」又は「夫婦のいずれかが39歳以下の世帯(若者夫婦世帯)」

※2: 対象となる住戸の床面積は50㎡以上240㎡以下とする。

※3: 以下の住宅は、原則対象外とする。

- ①「土砂災害特別警戒区域」に立地する住宅
- ②「災害危険区域(急傾斜地崩壊危険区域又は地すべり防止区域と重複する区域に限る)」に立地する住宅
- ③「立地適正化計画区域内の居住誘導区域外」かつ「災害レッドゾーン(災害危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又は浸水被害防止区域)内」で建設されたもののうち、3戸以上の開発又は1戸若しくは2戸で規模1000㎡超の開発によるもので、市町村長の勧告に従わなかった旨の公表に係る住宅
- ④「市街化調整区域」かつ「土砂災害警戒区域又は浸水想定区域(洪水浸水想定区域又は高潮浸水想定区域における浸水想定高さ3m以上の区域に限る)」に該当する区域に立地する住宅

※4:「GX志向型住宅」は環境省において実施、「長期優良住宅」及び「ZEH水準住宅」は国土交通省において実施。

※5: 長期にわたり良好な状態での使用するための措置が講じられている住宅で、地方公共団体にて認定を受けたもの。

※6: 断熱等性能等級「5以上」かつ再生可能エネルギーを除く一次エネルギー消費量の削減率「20%以上」に適合するもの。

※7: 賃貸住宅の場合、子育て世帯等に配慮した安全性・防犯性を高めるための技術基準に適合することが必要。

※8: 住宅の新築にあわせ、建替前に居住していた住宅など建築主(その親族を含む)が所有する住宅を除却する場合。

※9: 寒冷地等に限っては75%以上(Nearly ZEH)も可。

※10: 都市部狭小地等の場合に限っては再生可能エネルギー未導入(ZEH Oriented)も可。

※11: 共同住宅は、別途階数ごとに設定。

出典:国土交通省

2. リフォームの支援

省エネ改修等を行う場合、リフォーム内容に応じて、1戸あたり上限40万～60万円の補助が受けられます。

既存住宅 ^{※12} のリフォーム ^{※13}		
メニュー	補助要件	補助額 ^{※14}
Sタイプ	必須工事3種の全てを実施	上限:60万円/戸
Aタイプ	必須工事3種のうち、いずれか2種を実施	上限:40万円/戸
補助対象工事		
必須工事 ^{※15}	①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置	
附帯工事 ^{※16}	子育て対応改修、バリアフリー改修等	

※12:賃貸住宅や、買取再販事業者が扱う住宅も対象に含まれる。
※13:「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業」(環境省)、「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」(経済産業省)及び「既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業」(経済産業省)【以下「連携事業」という。】とのワンストップ対応を実施し、併せて実施することが可能。
※14:補助額はリフォーム工事の内容に応じて定める額を合算した額。
※15:①、②については、ZEH水準に相当する省エネ性能以上の改修工事に限る。
※16:補助対象となるのは「必須工事」を行う場合に限る。なお、この場合、連携事業のうち、環境省事業は必須工事①、経済産業省事業は必須工事③として扱う。

出典:国土交通省

GX志向型住宅、長期優良住宅・ZEH水準住宅の違いとは？

| GX志向型住宅

GX志向型住宅とは、下記の①②③すべてに適合する住宅のことです。

- ① 断熱性能等級6以上
- ② 再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」
- ③ 再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率「100%以上」

①断熱等級6以上

断熱性能等級6以上=UA値0.46※以下(HEAT20 G2グレード)のことを指します。
条件を満たすための技術や費用は、工務店や家の仕様によって様々です。

※断熱地域区分が5・6・7の場合のUA値。坂本工務店の施工エリアでは断熱地域区分が5以上です。

②再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」

例えば、エアコンや給湯器を省エネ性能の高いものに変えたり、壁や窓の断熱を強化することで、暖房や冷房で使うエネルギー量が大幅に減り、結果として一次エネルギー消費量の削減につながります。つまり、住宅がエネルギー効率を高めることによって、標準的な住宅※と比べて一次エネルギーの使用量を35%以上削減することを指します。

※2025年4月に制定の省エネ基準の一次エネルギー消費量の基準を標準と記載しております

一次エネルギーとは、石油や石炭、天然ガスなど、自然界に存在するエネルギーのことです。電気やガスになる前の「元のエネルギー」です。太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー（自家発電分）を除き、住宅そのものの高性能化や設備の効率化だけで達成する必要があります。

具体的には、断熱性能の向上(熱を逃さない住宅づくり)や高効率な設備機器(高性能なエアコン、給湯器、照明など)の導入により、従来の住宅と比べてエネルギー使用量を35%以上カットすることが求められます。

③再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率「100%以上」

住宅のエネルギー性能向上に加えて、太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用することで、住宅が使うエネルギー量をゼロ以下にすることを意味します。つまり、太陽光パネルを設置して、自分の家で使う電力は自分で賄うことが出来る住宅ということです。

| 長期優良住宅

長期間にわたり快適で安全に住み続けられるよう、耐久性や省エネルギー性能など一定の基準を満たした住宅のことです。国が定める基準をクリアし、所定の認定を受けることで「長期優良住宅」として認定されます。

長期優良住宅の認定を受けるには、以下の基準を満たす必要があります

- 耐震等級2以上(地震に強い)
- 劣化対策等級3(構造が長持ち)
- 断熱等性能等級4以上(省エネ)
- 維持管理・点検がしやすい設計
- 住まい方の計画(維持保全計画)の策定

| ZEH水準住宅

ZEH水準住宅は、「省エネ」と「創エネ」を両立し、エネルギー収支のゼロ化を目指す住宅です。断熱性能が高く、エネルギー効率が良い設備を導入することで光熱費を抑え、さらに太陽光発電で自ら電力を生み出すことが特徴です。

福山市なら GX志向型住宅or長期優良住宅 どちらを目指す？

補助金条件には「GX志向型住宅」「長期優良住宅」「ZEH水準住宅」の3つのパターンがありますが、将来のことを考えると、おすすめしたいのは、「GX志向型住宅」か「長期優良住宅」です。

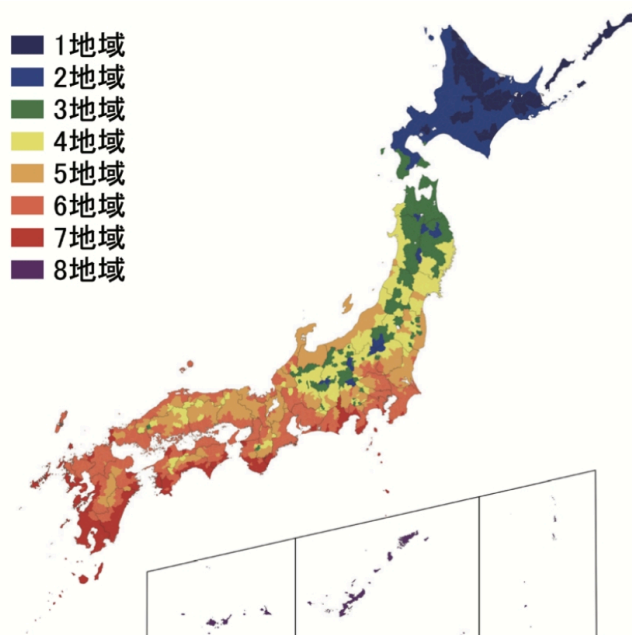
では、一体どちらを目指して準備すればよいのでしょうか？

実は、広島県福山市に住む方には断然「GX志向型住宅」がおすすめです！

| 福山市にお住まいの方にGX志向型住宅をおススメする理由

GX志向型住宅に認定されるための条件は3つありますが、暖かい地域ほど有利な制度となっております。『断熱等級6以上』という条件が今回の最重要ポイントです。

この断熱等級とは、地域ごとに異なる値です。同じ断熱性能等級6でも、地域によって満たさなければいけない値は異なります。広島は県のほとんどが5～7地域に区分される非常に暖かい地域です。



出典:国土交通省

性能を上げると住宅の価格も高くなってしまいますが、暖かい地域ほど「断熱等級6」を満たすためのハードルが低いため、比較的低価格で断熱性能を上げることができます。つまり160万円の補助金があれば、性能を上げた分の原資を回収できる可能性が高いのです。

| 性能で比較！GX志向型住宅と長期優良住宅

2つの差額は80万円なので、すでに長期優良住宅でご計画されている場合には、80万円以内に収まれば、GX志向型住宅の方が単純にはお得ということになります。

	GX志向型住宅	長期優良住宅
目的	エネルギー消費削減と環境配慮	長期間住み続けられる耐久性と安心感
断熱性能	等級6以上	等級4以上
エネルギー収支	省エネ+創エネ(エネルギー収支ゼロ)	省エネ重視
耐久性・耐震性	耐震等級3	劣化対策等級3、耐震等級2以上
補助金	最大160万円	80万円(建て替えは100万円)
資産価値	環境性能に優れた最新住宅	長期的な価値維持

GX志向型住宅がおすすめの方

- 子育て世帯、若者夫婦世帯には当てはまらない
- 光熱費を大幅に抑えたい
- 再生可能エネルギーを活用して環境に貢献したい
- 新しい補助金制度を活用したい

長期優良住宅がおすすめの方

- 住宅の耐久性や長期的な資産価値を重視したい
- 計画的な維持管理を行い、長く安心して住みたい
- 税制や金利優遇などのメリットを受けたい

最適な補助金を獲得しましょう！お気軽に相談会にご参加ください

実際にはどの補助金が当てはまるのかは、住宅の仕様によって様々。高額な補助金を狙いすぎても、将来的に高額なメンテナンスが必要になったりすることもありますので、家の仕様について工務店としっかりと相談することが大切です。

坂本工務店でも、個別のご相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。